

氷河期こそ考え抜いて

たどる
2010年の
現場から 5

街がクリスマスモードに包まれた23日夕。大阪市北区のオフィスビルの一室。向かい合って座った男子大学院生(23)に、その男性は問いかけた。

「一体どんな人間なん？」

「和太鼓をやった」

「それは面白い。本気で取り組んできたことを語れるいい材料だ」

男性は「就職活動プロコーチ」の上田浩史さん(26)。マンツーマンで学生を指導して「商品価値」を見だし、それを面接でアピールするよう助言している。

上田さんは大学卒業後の2006年4月、企業の採用活動を支援するコンサルティング会社に入った。就職活動をする学生たちと日々接している、その姿勢に疑問を感じる



就職活動の指導をする上田浩史さん

大阪府北区、飯塚晋一撮影

大学生の就職内定率、過去最低

2008年秋のリーマン・ショック以降、企業が大学生の採用を控える傾向が強まった。厚生労働省と文部科学省の調査によると、就職内定率は今年10月1日時点で57.6%に下落。統計を取り始めた1996年以降、「就職氷河期」とされた過去最低値60.2% (03年10月1日時点) を7年ぶりに更新した。一方、大手就職情報会社「リクルート」によると、来春卒業予定の大学生らの求人倍率は、5千人以上の大企業では0.47倍だが、300人未満の企業では4.41倍。不況の中、大企業への就職は依然厳しい状態が続いている。

ことも多かった。希望企業のデータも調べず、「何をやりたいの」と聞いても黙り込むばかり。「丸腰で就活する気なのだろうか」と思う上田さん。不況の時代だからこそ、企業は高い志のある人材を求めていることを伝えたい」と感じた。会社をやめて昨秋、就活プロコーチを始めた。これまで受講した約60人のうち40人の来春卒業予定者はほとんどが内定を取った。

留学経験のある大阪外国語学部4年の男子学生(22)は、海外勤務がある大企業を「じゃあ南米で働いてく

狙っていた。業種を問わず50社以上の説明会に参加した。だが内定はなし。「自分のやりたいことを伝えていないのにならぬ」。今春、上田さんに指導を頼んだ。

この学生が希望する商社の採用コンセプトは「開拓者精神」。学生が今後南米へのさらなる日本企業進出を予測して大学でスペイン語を学んでいたという話を聞き、上田さんは志望動機を中心に据えることを提案した。面接ではそのエピソードが受け

るんだね」と言われ、内定が出た。学生は「人にアピールする技術は就活に限らず、すべてのことに生かせるはず」。

厚生労働省によると、就職から3年以内に仕事をやめた大卒者の数は、1995年以降毎年3割を超える。苦勞して入社しても、壁にぶち当たるとしてすぐにやめる「ミスマッチ」が起きている。実は上田さんは企業の採用方法に疑問を持っている。短時間の面接で決めてしまっているのだから、「いい人材をわずかな面接のせいで取りにがすのは、企業にとっ

て本来損害のはず」。筆記試験と短時間の面接に頼る従来の採用形態にこだわらず、採用に直結したインターンなど学生の力量や耐性をじっくり見極めるべきだと思う。

「学生が志を持ち、自分がやりたいことをちゃんと考えて就職活動するのなら、就活コーチなんかいらんないんです」とも話した。

とはいえ、未曾有の就職氷河期。就職情報サイト「日経就職ナビ」によると、12年春卒業予定の学生を対象にした11月のモニター調査で、自己のプロフィールやPR文を「エントリー」した企業は1人平均50社。就職先選びで重視するのは「将来性がある」が1位で、前年1位の「仕事内容が魅力的」は3位へと後退した。仕事を中身で選べる状況ではないという意識が強まっている。

学生はどう立ち向かえばいいのか。上田さんのアドバイスは「厳しい就職戦線を嘆いてもしょうがない。これを逆手にとって、自分のやりたい仕事、将来の自分の姿をこごとんまて考える。そういう機会だと考えてやるしかない」。



「大たこ」のソース道頓堀に再び香る。大阪・道頓堀のたこ焼き店「大たこ」が25日、再オープンした。大阪市の土地にあった旧屋台の立ち退きを命じられ、16日に自主撤去してから9日。元の場所の向かい側にあるビル1階で、香ばしいソースのおいを漂わせた。午前10時。大たこの店員が「やります」と呼びかけると次々と客が並んだ。写真、中里友紀撮影。観光で来た埼玉県和光市の会社員男性(31)は「撤去したと聞いていたのが驚いた」。林美樹店長(34)は「元の店の近くで再開できてありがたいが、できれば市から土地を買い取って元の場所で営業をしたい」と話した。

採れ、今月14日、同市に渡された。行「きたぐ下線など。によるトラブルが発生。午前6時40分ごろ、大阪府和泉市のJR阪和線と泉府中駅近くの線路上に1台四方の看板が落ち、7本が運休、13本が最大15分の遅れ。午前8時半ごろには、同府八尾市のJRおおさか東線の久宝寺駅近くの架線に農業用シートがからみつき、4本が運休、1本が33分遅れた。